



部局名 農学部獣医学領域

担当: 齊藤 暁

活動内容 あぶらとりフィルムで簡単検査 ～皮脂RNAでネコのウイルス感染を見つける新技術～

🐾 ウイルス感染症について

ネコには病気を引き起こす多くのウイルス感染症があり、宮崎県をはじめとして各地で感染者が出ている重症熱性血小板減少症候群（Severe Fever with Thrombocytopenia Syndrome : SFTS）*や、猫後天性免疫不全症候群（Feline Immunodeficiency Virus : FIV感染症、いわゆる猫エイズ）などは、近年大きな社会問題となっています。ネコの診療現場では、検査者として獣医師や愛玩動物看護師が直接対応することが多く、血液検査では注射針を使用します。こういった検査はネコの負担が大きいだけでなく、検査者にも感染リスクやけがの危険が伴うため、安全性の向上は極めて重要です。



🐾 あぶらとりフィルムでの簡便な検査方法の確立に成功

宮崎大学農学部獣医学科3年の福嶋優莉学部生、宮崎大学農学部獣医学領域・齊藤暁准教授、宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター・目堅博久准教授、みやざき動物愛護センター（宮崎市）との研究チームは、ネコのRNAウイルス感染症をあぶらとりフィルムを用いて検査する方法の確立に成功しました。この方法は検査者の安全性に考慮すると共に、検査によるネコの心理的、身体的負担の軽減に貢献することを目的としています。



🐾 今後の展望について

今回の技術については、特許を出願中で、今後一般的な実用化を目指して、引き続き研究を進めていきます。宮崎大学は、今後も自治体や企業などと連携し、学術的な研究成果を社会に還元できるよう、取り組んでまいります。

🐾 参考URL

- ▼あぶらとりフィルムで簡単検査
～皮脂RNAでネコのウイルス感染を見つける新技術～【記者会見】
<https://www.miyazaki-u.ac.jp/newsrelease/edu-info/-rna.html>
- ▼あぶらとりフィルムでの簡便な検査方法の確立に成功
～皮脂RNAでネコのウイルス感染を見つける新技術～【論文】
https://www.miyazaki-u.ac.jp/public-relations/20260219_01_press.pdf